



令和3年6月16日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## 今月のテーマ「大雨、台風、風水害、土砂災害」

今年は例年になく梅雨入りが早い状況にあります。梅雨入りが早ければ、梅雨明けも早くなるのでしょうか。過去の統計を見る限りでは、九州北部で最も早く梅雨入りした1954年の梅雨明けは、平年より13日遅い8月1日で、2カ月半にわたる長梅雨により、降水量は平年の梅雨時期より73%も多い状況でした。このほか、梅雨入りが平年より早い年を見ても、梅雨明けが早くなることはほぼなく、梅雨明けも例年並みの長梅雨になると考えて良いかもしれません。

### ● 1年前のこの時期の出来事を覚えていますか？ ～「令和2年7月豪雨」について～

近年の集中豪雨は夜間に多いと言われることもありますが、1年前の「令和2年7月豪雨」においてはまさにその形となりました。

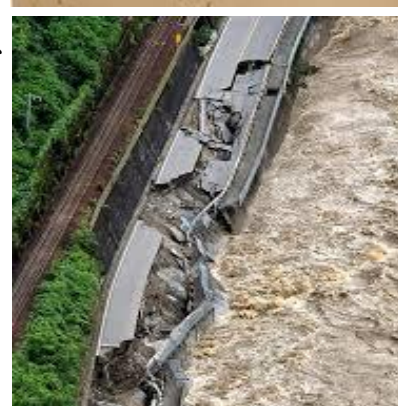
熊本県南部では4日未明から朝にかけて、局地的に猛烈な雨が降り、気象庁は4日4時50分に大雨特別警報を熊本県・鹿児島県に対して発表しました。このとき熊本県天草・芦北地方や球磨地方付近には、幅約70km、長さ約280kmの大規模な線状降水帯が発生していました。この線状降水帯は、2009年以降に九州で発生した線状降水帯のなかでは最も規模が大きく、持続時間も最長だったようです。

また、梅雨前線上に発生した小低気圧の影響で極めて多量の水蒸気流入に加えて、上空への寒気流入の影響により大気の状態が非常に不安定となり、近年の豪雨と比べて最も背の高い積乱雲がこの線状降水帯を形成していました。記録的な豪雨により県南部を中心に河川の氾濫や土砂崩れなどの災害へと発展し、県内で死者65人、行方不明者2人、住宅の全半壊約4600棟など甚大な被害を出すこととなりました。

昨今、地震に限らず、集中豪雨による自然災害が頻繁に起きている印象もあります。備えれば憂いなしとも言えます。自然災害の発生はいつどこでどのような規模で起きるのかわかりません。備えていてもと思うこともあるかもしれませんが、自分の命、大切な家族の命を守るためにも、常日頃からの情報収集と避難時の行動確認、避難物資の準備を怠らないようにしましょう。

地域	全国の梅雨入り、梅雨明け時期			2020年以前の 最も早い梅雨入りと その年の梅雨明け
	梅雨入り 2021年	梅雨入り 平年	梅雨明け 平年	
沖 縄	5月5日	5月10日	6月21日	1980年4月20日 →6月10日
奄 美	5月5日	5月12日	6月29日	98年4月25日 →6月24日
九州南部	②5月11日	5月30日	7月15日	56年5月1日 →7月13日
九州北部	②5月15日	6月4日	7月19日	54年5月13日 →8月1日
四 国	①5月15日	6月5日	7月17日	76年5月19日 →7月22日
				91年5月19日 →7月19日
中 国	②5月15日	6月6日	7月19日	63年5月8日 →7月13日
				56年5月22日 →7月12日
近 畿	①5月16日	6月6日	7月19日	2011年5月22日 →7月8日
東 海	②5月16日	6月6日	7月19日	63年5月4日 →6月22日
関東甲信	?	6月7日	7月19日	63年5月6日 →7月24日
北 陸	?	6月11日	7月23日	56年5月22日 →7月26日
東北南部	?	6月12日	7月24日	59年6月1日 →7月25日
東北北部	?	6月15日	7月28日	97年6月2日 →7月17日

※丸数字は統計開始以来の順位。2021年のみ速報値。平年の梅雨入り梅雨明け時期は気象庁が5月19日から使用する新平年値



## ●集中豪雨における自然災害時の避難について

集中豪雨時の土砂災害、洪水時の避難は、地震時の屋外への避難とは異なり、屋内の高い所へ避難することが鉄則となります。湧心館高校の周辺は土砂災害が想定される区域とはなっていませんが、洪水時は地域の洪水ハザードマップの想定浸水域に該当し、浸水深は1.0m以上～3.0m未満とされています。

登校後から下校前までの間に、洪水が発生した場合の湧心館高校の洪水時避難計画では、以下のように定めています。

- ①生徒の皆さんは各HR教室（全日制は西棟、定時制・通信制は東棟の2階以上）にて待機します。
- ②地域の方も避難されることがあります。地域の方は、平日昼間は東教室棟2階、平日夜間は西教室棟2階、休日は西教室棟2階（北側）以上を利用します。

なお、家や、学校以外の様々な場面で、災害に遭遇することもあります。自分の身は自分で守る。そのためにも、学校内だけの避難と考えず、家や良く出かける場所での避難先を各家庭でも確認しておくともよいかもしれません。



## ●避難に備えた非常用品の備蓄一例

《例》

- |             |               |           |
|-------------|---------------|-----------|
| ○懐中電灯（予備電池） | ○着替え、タオル      | ○ライター、マッチ |
| ○救急薬品       | ○携帯ラジオやワンセグ携帯 | ○貴重品      |
| ○非常用食料      | ○水            |           |

非常用品の備蓄は、上の例以外にも家族構成や、その人の健康状態等に応じたものも準備しておく必要性があります。避難時は両手が使えないと、不便なことも多々ありますので、リュックなど背負えるものがお勧めです。また、水害による避難も考慮し、準備する時点で、水に濡れないよう防水機能のあるリュックや中に入れる物もある程度小分けにまとめられるよう空気を抜いた状態でビニール袋等に入れておくとかさばらず、より必要な物を一まとめに出来ると言えます。ただ、だからと言ってあまりに内容量が多いと、担いだ時に負担になりますので、あくまで最小限度にまとめるようにしておきましょう。



## 大雨、台風、風水害、土砂災害時の熊本県の防災情報

◎熊本県HP内「防災情報総合案内」

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/bousai-kumamoto/>

◎熊本県防災型統合システム → QRコードからも読み込めます。→

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

◎熊本市防災サイト <https://www.city.kumamoto.jp/bousai/>

◎国土交通省「川の防災情報」 <https://www.river.go.jp/>



**過去のぼうさい通信を見ることが出来ます** 本校HPにアクセスしてみよう。

◎ぼうさい通信(毎月16日発行) <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>